

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園運営費交付金に必要な経費		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	企画課施設管理室		黒沢正俊		
会計区分	一般会計		施策名	VII-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法第5条第2項		関係する計画、通知等	第2期中期目標・計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が、知的障害者の福祉の推進を図る観点から、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施するために必要な費用の補助を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園を対象とし、当該法人が重度知的障害者の地域移行、行動障害等を有するなど著しく支援が困難な知的障害者に対するモデル支援及び調査・研究、それらの成果等を活用した養成・研修等を行うための費用を補助している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	2,382	2,264	2,261	1,977	1,954	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	2,382	2,264	2,261	1,977	1,954		
	執行額	2,382	2,264	2,261				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	独立行政法人通則法第29条第1項の規定に基づき、中期目標を定め、その中で、施設利用者の地域移行を積極的に推進することによる利用者の減とそれに伴う職員数の減や調査・研究事業の実施及び啓発などを実施している。これらの事業の成果実績については、各々金額により、成果実績を表すことは、困難である。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	中期目標を受けて、法人で中期計画及び年度計画を定め、年度計画に基づき事業を実施している。これらの実績については、各々の活動実績のみで図ることは困難であり、年度計画の達成度を厚労省独法評価委員会で、評価いただくことで活動実績としている。		活動実績(当初見込み)	—	—	—	—	
					(—)	(—)		
単位当たりコスト	—		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	運営費交付金	1,977	1,954	事業費の見直しによる減				
	計	1,977	1,954					

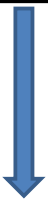
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国の障害福祉政策に基づき、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が、事業を実施するためには必要であり、独立行政法人通則法第46条により交付している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	支出については、人件費や物件費などの法人運営に必要な経費に限定している。また、資金の流れについては、会計監査法人や厚生労働省独立行政法人評価委員会においても、検査承認いただいております。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園に入所している、重度の知的障害者に対する生活介護、就労移行支援などに活用されている。
点検結果	成果目標及び実績については、毎事業年度毎に当該法人が作成する決算関係書類や事業実績等で把握しており、また、独立行政法人通則法に基づく、評価の仕組みの中で事業実績等の適切性に関する点検を受けている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からも適切であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	519	平成23年行政事業レビュー	472

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
2,261百万円(平成23年度)



A 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
2,261百万円(平成23年度)



人件費
1,542百万円(平成23年度)



物件費その他
719百万円(平成23年度)

【事業概要】

この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が、知的障害者の福祉の推進を図る観点から、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施するために必要な費用の補助を行う。

なお、支出については、自己収入分や運営費交付金分の区分なく行っており、厚生労働省独立行政法人評価委員会においても、検査承認いただいています。そのため、運営費交付金分に係る支出の内訳は、算出不能です。上記の金額は、参考までに、平成22年度法人全体の支出額の割合から算出したものです。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員人件費	1,542			
物件費その他	光熱水料、通信運搬費、雑役務費等	719			
	金額については、平成22年度法人全体の支出額の割合から算出				
計		2,261	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施	2,261		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					